一日　日刊
磐城時報
福島縣石城郡平町紺屋町十五
編輯兼發行人　岡田弘氏
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十五
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所　磐城時報社
一部金弐錢　一ヶ月金卅錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

表忠塔除幕式
加藤大將以下朝野の名士參列
昨日江名空前の盛會

增田、島田兩海軍少佐の遭難現場に薗田男爵が私財を投じて建碑した表忠塔の落成除幕式は既報の如く昨三十日午後二時から遭難現場たる江名永崎海岸に於いて盛大に擧行された。先ず國歌合唱、司祭者河野町長擧式を告げ、神官の修祓後祭主祝詞、司祭者薗田男爵の式辭あり、特に臨場した横須賀鎮守府司令長官永野修身大將、貴族院議員公爵一條實孝、大日本航空協會理事四王天中將、航空教育會理事長坂本中將、貴族院議員我國學界に著名の田中館愛橘理博、貴族院議員福原俊丸男爵、知事、聯隊區司令官、青沼町村長支會長、山崎聯合分會長等祭文あり遺族玉串奉奠あつて軍事參議官加藤寛治大將の發聲で天皇陛下萬歲を奉唱閉式したが此の日前記加藤大將以下朝野の名士數百名を始め同町小學校兒童、町內有志その他五千餘名參列同町一帶は空前の賑ひを呈した。

磐陽野球戰閉幕
入山堂々覇權を握る
壞滅した磐炭、磐中。

今秋掉尾の野球豪華戰磐陽野球大會は前回に引續いて昨三十日午前八時から平町高月臺グランドで磐中對入山の準決勝開始、磐中守備攻擊ともに振はざるに乘じ入山軍盛んに長打を飛ばし新人磐中を粉碎十五對一、七回戰でコールドゲームを宣せられた。

入山	3	2	7	0	0	3	0	15
磐中	0	0	0	1	0	0	0	1

次いで湯本對磐炭戰は熊、佐藤信澤三君審判で開始湯本大平、磐炭涌井の兩投手好投し前半稀れに見る接戰を續けてゐたが後半大平極度に疲勞し四球連續カウントと整えんとして好球を投じては長打され毎回得點を加へられ遂に八對五で恨みを呑んだ

湯本	0	2	0	0	0	1	0	0	2	5
磐炭	0	0	0	0	2	3	3	0	0	8

斯くて勝ち殘つた入山、磐城兩球團によつて決勝戰の幕は同二時石坂(球)水竹、佐藤、熊四君審判の下に切つて落されたが入山軍は一面投手の好投に引きかえ磐炭軍投手團は無制球と入山軍の健棒に遭つて壞滅九A對一の大差で入山軍の覇業成つた。

磐炭	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
入山	1	0	2	2	1	0	1	2	A	9A

大□□□客の化の□□□
一枚剝げば前科四犯の豪者
してやられた料亭

三十日午後一時頃平驛前蔦屋旅館に投宿した東京市京橋區銀座二町目二八居住國本產業會社員阿部金吾(四一)と自稱してゐる紳士風態の宿客を不審と睨んだ平署の柏木刑事が本署に同行を求め取調た結果風采堂々一見紳士態の此の男は懷中無一文で所持品とてもなく無錢宿泊を企てた事が明らかとなつたので追究したところ包み切れず前記會社員とは眞赤な僞り飯野村大字下荒川字鶴ヶ町生れ當時住所不定無○前科四犯阿部運次郎(四一)で去七月二十日千葉刑務所を出所以後東京、水戸等を放浪故鄕に舞戻り同日午後三時頃から南町某料理店で酌婦四名を總揚にして大豪遊を爲し遊興費三十餘圓を今日は日曜で銀行が休みだから明日支拂つてやると稱し歸宿してゐた事を自白同樣余罪も頗る多い見込で各地に照會取調を續けてゐる。

祝賀劍道
遠藤三段優勝

表忠塔除幕式祝賀劍道大會は同江名海岸で擧行平署の遠藤正彌三段優勝した。

二等　草野忠吾二段平商業
三等　大谷次男二段平署
四等　山田菅雄二段好間村

博覽會の
第一回委員會

平町では伊東一氏計劃の滿蒙、國防、時局大博覽會を平町主催で明春四月平町に開催する事とし委員として井上、野崎正副議長の外佐々木、馬目雅、猪狩、吉田寅、高橋の各町議を委員に決定諸準備をすゝめる事になつたが、今一日午後一時から第一回委員會を開く事になつた。

刺身庖丁をかざして
三時間も追廻す
惡罵されて憤慨した男
殺人豫備罪で送檢

宮城縣挑生郡高城町大字八本川戸生れ平窪村天字中平坪高橋居住夏井川改修工事人夫熱海善務（三二）は二十九日午後三時頃人見讀んで見ると、右注文はでたらめで東京へ出て勉强したいから釣錢の八圓七十錢を旅費に丁戴する……と走書してあり余りの呀にびつくりした主人は早速取押へ方を平署に願出たので手配の結果同日午後六時三十六分平驛發列車で上京しやうとして驛前を徘徊してゐたのを發見取り押えた、取調た結果吉松は去四月中から店の賣溜金を盜み貯め合計七十餘圓になつたので此れを資本に東京に出て一旗あげ樣と前記の仕業に出たものと判明した。

素人寫眞大會
來月初旬擧行

郡下第一回アーマチャー寫眞大會は來月十、十一日の兩日に亘り平町三町目マルトモホールで開催するが、寫眞熱漸く旺盛の折柄參加者多く盛會を豫想されてゐる。

冴やかなトリック
主人をまんまとはめらる
盜み貯めた金を資本に
一旗あげる少店員の大望

平町五丁目マルカ酒店の小店員若松市融通寺町生れ齋藤吉松（一八）假名は昨三十日午前十時頃新川町の某氏宅から一圓三十錢の赤玉ポートワイン一本の注文あり十圓で釣錢を持つて來いと言ふから……と主人から八圓七十錢の釣錢を受取つて出た

四倉壯丁
現役兵決る

四倉町昭和九年度徵兵合格者四十名の抽籤の結果左の十四名現役兵に召集される事になつた。

▲步兵山下武男、井上吉男、緒方吉清、塩田幸太郎、長谷川健三、市東金松▲騎兵須藤甚吉▲工兵山野邊清▲電信兵榊原清▲飛行兵新妻富雄▲輜重特務兵出羽勝男▲水兵庄司久吾▲工兵鈴木重吉▲山砲兵片寄豐一

待人堂建立
赤井嶽中腹に
唯一の休憩所

平町片寄友次、渡邊又兵工、赤井村吉田佐內外數名發起で郡下唯一の名刹赤井嶽登山道に途中休憩所を設ける事になり工費三百五十圓を投じて過船來登山路中腹の急坂上に休憩所「待人堂」の建造工事中であつたが愈々近く竣成するので更に附近に待人堂記念碑を建て貫主旭純榮大僧正を迎えて盛大な竣工式を擧げる事になつたが參詣の善男善女から此の計畫は非常に喜ばれてゐた。

素人寫眞大會
來月初旬擧行

郡下第一回アーマチャー寫眞大會は來月十、十一日の兩日に亘り平町三町目マルトモホールで開催するが、寫眞熱漸く旺盛の折柄參加者多く盛會を豫想されてゐる。

四倉校運動會

四倉校運動會は來る十三日午前八時より擧行するが同日は實踐女學校及び水產商業校男女青年團員も參加すると。

北部教員
日曜講習會

四倉小學校では三十日午前九時より第四區教員の日曜講習會を開催したが八十余名出席し福島師範訓導長谷川五郎氏の講習があつた。

平南町
川井科內診療所
電二四三番

耳鼻咽喉科專門醫院

涼風を追ふてドライブを

タクシーは尼子へ
車体優美……御用命は
親切迅速を
モットーとす

尼子タクシー
電六四〇番

洗練されたサービスは
完全に皆様の
使用を果します

かまぼこ製造
折詰仕出し
吉原揚、さつま揚
平二

不藤市
電話三〇五番

耳鼻咽喉科専門
病室完備
自炊ノ便アリ
平町田町(電六九一)
啓學士 山内醫院
山内亨吉

許允省藏大
磐城無盡
自力更生
簡易ノ金融
趣味ノ貯蓄
本店平町字三ツ八番
共存共榮
誠實堅實
斷然群ヲ抜ク

腫物、おでき切らずに治る
良ハレモノ藥 八方散
平一(電六九九) 水野藥局

見習徒弟募集
委細面談
加納活版所

吸入用酸素!!
純度99%

度量衡
モノサシ
マス
ハカリ

温度計
体温器
寒暖計

◎秤ノ取緒(ヘカリ・トリチ)・錘糸(ダマイト)・修覆致(トリカヘ)シマス
◎寫眞機材料一式
開内藥局
電話四〇番

夜診療
胃腸病
内科
胃腸病科
性病
花柳病科
性病科
泌尿器病科
皮膚科
肛門病科
専門
松村胃腸性病科醫院
(平町南町 電一〇七番)

電話開設披露
四倉驛前常磐タクシーは電話六十一番を開設致しました。貸切の御用命を御待ぢして居ります。
尚大野村玉山並に白岩部落の松茸狩の團体は特に御相談に應じます。
四倉驛前
常磐タクシー
緒方與平
電話六十一番

平町の株式店
公社債。株式現物賣買
治角治株式店
平町本町三丁目 七十七銀行隣 大谷時計店側
電話七三番
株式日報 營業案内 御報進呈 御報參上

東京株式取引所 短期 實物取引員
治角治商店
電話代表茅場66 (一二七一 一二七三 一二七五 三四五六 一二七二 一二七四 三四五五 八二四 長六六五)
東京市日本橋區兜町一ノ四電略(カヌハ)カクヂ

輪界に唯一ツ
鋼鐵製全廻轉部防水式
山口ノ自轉車
注油不要、堅牢經濟品ノ良イ値ノ安イ
—(カタログ進呈)—
代理店 大高自轉車店
平土橋

磐城鐵工機械同業組合

◎◎◎氷は魚清!!
電話四六七番へ
平二丁目警察署通り
本店 魚清氷卸部
江名町築港内
支店 江名販賣所
電話六九番